

中東・北アフリカの若手女性リーダーが訪日 「女性の活躍」をテーマに日本側と意見交換

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は、日本と中東・北アフリカ諸国との相互理解を深めることをめざして、中東・北アフリカ諸国の実務家や研究者等からなる若手女性リーダーを日本に招へいし、「女性のエンパワーメント」をテーマに国内の企業や団体を視察します。

視察終了後には報告会も開催し、日本と中東・北アフリカ諸国双方における女性の社会進出の状況について、意見交換を行う予定です。



昨年度の若手リーダー招へい時の様子

中東・北アフリカ地域の若手リーダーを日本に招へいする本事業は2004年に始まり、11回目となる今回、訪日する若手リーダーは8カ国（イラン、エジプト、カタール、クウェート、サウジアラビア、チュニジア、バーレーン、ヨルダン）の女性です。

視察では、女性が活躍する企業（株式会社資生堂東京銀座資生堂ビル）、女性問題の啓発に尽力してきた公的機関（東京ウィメンズプラザ）、DV被害者を支援してきたNPO（NPO法人レジリエンス）といった、性別にとらわれない社会的役割分担、女性を取り巻く環境の改善に関わる日本の組織の訪問を予定しています。

最終日の報告会では、招へいされた女性リーダーが、日本に滞在して感じたことについて発表するのに加えて、日本の中東地域の研究者などとともに、双方における女性の社会進出の状況を比較し、意見交換を行う予定です。

この機会に、本事業についてご取材いただきたく、宜しくお願ひ申し上げます。

【招へい期間】2017年2月26日（日）～3月6日（月）の8日間

【主要日程】
 2月27日（月）オリエンテーション（国際交流基金）、外務省表敬訪問
 28日（火）株式会社資生堂（東京銀座資生堂ビル）訪問、広島へ移動
 3月1日（水）被爆体験講話、厳島神社視察（広島）
 2日（木）原爆ドームおよび平和記念資料館視察、株式会社ソアラサービス訪問（広島）
 3日（金）東京ウィメンズプラザ訪問（東京）
 5日（日）NPO法人レジリエンス訪問（東京）
 6日（月）報告会（於・国際交流基金）※報告会の詳細は次頁参照。

●主催者・本事業に関するお問い合わせ：

国際交流基金 日本研究・知的交流部 欧州・中東・アフリカチーム（担当：田村、松尾）

Tel: 03-5369-6071 / E-mail: oca@jpf.go.jp

●取材に関するお問い合わせ：国際交流基金 コミュニケーションセンター（担当：二村、諏佐）

Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

【報告会概要】

日時 : 2017年3月6日(月)

会場 : 国際交流基金本部(東京都新宿区四谷 4-4-1) 9階第1セミナー室

プログラム : 14:00 ~ 15:50 開会、発表

15:50 ~ 16:30 質疑応答

使用言語 : 英語(質疑応答は逐次通訳予定)

参加者 : (中東・北アフリカ 若手女性リーダー)

アヤーティ氏(イラン) : タルビアト・モダレス大学院大学、社会環境工学部、准教授

ハサン氏(エジプト) : カイロ大学政治経済学部、専任講師

アル・ハーシミー氏(カタール) : バルワ銀行、戦略部門、幹部職

アッサバーハ氏(クウェート) : クウェート国家治安局、国際関係部、シニア・アナリスト

アル・カフターニー氏(サウジアラビア) : サウジ証券取引所広報部門、シニアコピーライター

スケンダジ氏(チュニジア) : ジャーナリスト、テレビ番組制作会社「エポワール・プロダクション」

アル・バルーシー氏(バーレーン) : 青年・スポーツ省、青年交流部局、青年交流専門家

マルカーウィー氏(ヨルダン) : ヨルダン・タイムズ紙、シニアリポーター

(日本側参加者)

ジェンダーや中東地域の研究者等(現在調整中)

※中東出身の日本研究フェロー(国際交流基金事業)参加する可能性があります。

●主催者・本事業に関するお問い合わせ :

国際交流基金 日本研究・知的交流部 欧州・中東・アフリカチーム(担当: 田村、松尾)

Tel: 03-5369-6071 / E-mail: oca@jpf.go.jp

●取材に関するお問い合わせ : 国際交流基金 コミュニケーションセンター(担当: 二村、諏佐)

Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp